

学習計画について

| 評価の観点 | | | | | | | |
|-------------|---|--|---|---------------|---|----------|--|
| a. 関心・意欲・態度 | | b. 思考・判断 | | c. 資料活用の技能・表現 | | d. 知識・理解 | |
| 月 | 学習項目 | 学習内容(ねらい・活動例)および評価の観点 | a | b | c | d | 評価方法 |
| 4 | 第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本 原理と日本国憲法 政治と法の機能 人権保障と法の支配 議会制民主主義と政 治の特質 | <ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。 自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。 各国の状況をインターネットや書籍を利用して調査する。 民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |
| 5 | 日本国憲法の基本原 理 基本的人権の保障と 新しい人権 | <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程を理解しながら、日本国憲法のもつ意味について考察する。また、三大原理についても理解する。 日本国憲法の成立過程を学習しながら、大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について正確に把握する。 日本国憲法の全体像にふれながら、平和や人権などの問題を考える。 自衛隊・憲法改正問題など昨今の憲法に関するさまざまな論点について関心を深める。 基本的人権、新しい人権について、意欲的に理解を深め、その本質を把握する。 人権に関する判例を活用しながら、権利と義務などについて理解する。 人権を主張する際、時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |
| 1 6 | 国会の組織と機能 内閣の機構と機能 裁判所の機能と人権 保障 | <ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。 国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割について、意欲的に理解する。 日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。 司法制度の改革について正確に把握し、その上で問題点を含めて考察する。 国会・内閣・裁判所に関する題材をさまざまなメディアを通して収集する。 法律の制定過程や裁判のしくみなどについて正しく理解する。 内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |
| 7 | 地方自治制度と住民 の権利 政党政治と選挙 世論と現代政治の課 題 | <ul style="list-style-type: none"> 望ましい政治のあり方や、主権者としての政治参加のあり方について考察する。 地方自治の本旨を理解し、地方分権について関心を高める。 選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。 マス=メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。 具体的な事象に則し、考えさせる。同一事象に対するニュース報道を比較させ、マスコミの世論誘導を考えさせる。メディアリテラシーの視点を理解させる。 国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。 選挙結果の分析などを、新聞・テレビ・週刊誌・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して調査する。(できれば模擬選挙の実施) マス=メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |

| 年次 | 月 | 学習項目 | 学習内容(ねらい)および評価の観点 | a b c d | | | | 評価方法 |
|----|----|---|--|---------|---|---|---|--|
| | | | | a | b | c | d | |
| 2 | 8 | 課題レポート ・新聞スクラップ等 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の社会や政治経済問題について関心を高める。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> レポート 新聞スクラップ |
| | 9 | 第2章 現代の国際政治と日本 国際政治の動向 国際社会と国際法 国際連合の役割と国際協力 安全保障と日本の防衛 国際政治の特質と国際紛争の諸要因 国際平和と日本の役割 | <ul style="list-style-type: none"> 国際政治と国内政治の違いを理解する。また、先進国と発展途上国などのように、国家間に格差が生じていることを把握する。 冷戦終結後の国際社会の動向について理解する。 国際連合の役割を理解する。また、現実には国際連合はどのような問題を抱えているのかについても把握する。 冷戦終結後の世界が、冷戦時代と比べてどのように変化したのかについて、意欲的に理解を深める。 NGOが国際政治に与える影響について、関心を高める。 民族紛争などを例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察する。 国際平和のために、日本が貢献できることは何かについて、さまざまな視点で考察する。 国際平和に関する問題について、さまざまなメディアを利用して調査する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |
| | 10 | 第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容と経済のしくみ 資本主義経済の発展と社会主義経済の変容 経済主体と経済活動 市場経済の機能と限界 経済成長と景気変動 | <ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解する。 経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。 社会主義国の経済体制の変容と現状について、関心をもち、深く考察する。(東西のカメラ技術比較) 市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 経済活動の目的が国民の福祉の向上にあり、その実現のためには経済成長と景気の安定が必要であることを理解する。 家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいつながら国民経済を構成しているのか理解する。 独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 需要と供給に関する資料や、商品のシェアについてさまざまなメディアを通して調査する。 株式会社とはどのようなものであるのか、所有と経営の両面から理解する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |
| | 11 | 財政のしくみとはたらき 資金の循環と金融機関のはたらき インフレーションと物価の動き 日本経済の特質と福祉の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 財政の基本的なしくみや役割について理解する。 日本の財政の現状を理解し、経済活動のあり方と福祉の向上について考察する。 財政政策や金融機関には、どのようなものがあるかを表などでまとめて理解する。 具体的な経済政策をもとに、現代の経済について考察する。 金融機関をはじめ、日本経済が抱えている問題について認識する。 経済成長率の推移、景気変動などの資料、経済政策に関する資料などを利用して、日本経済の動向を調査する。 巨額の公債残高は大きな財政負担であることを理解し、財政及び金融政策の重要性を認識する。 国民生活における租税の意義と役割について正しく把握する。少子化問題との関連性を発見させる。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |
| | 12 | | | | | | | |

| 種 | 月 | 学習項目 | 学習内容(ねらい)および評価の観点 | a | b | c | d | 評価方法 |
|---|---|--|---|---|---|---|---|--|
| | 1 | 第2章 国民経済と国際経済 国際経済のしくみと現状 為替相場のしくみ 国際協調と国際経済機関の役割 国際経済の諸問題と日本の役割 | <ul style="list-style-type: none"> 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら、国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。 国際収支の基本的な構成を理解し、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 為替相場の国際経済における重要性について認識する。 ヒト、モノ、カネの国際的な移動が、世界経済に与える影響について、関心を高める。 円高・円安が、自分の生活にどのように影響するかについて関心をもつ。(外国・国内紙幣) 日本企業の海外での現地生産を例に、考察する。 G A T Tの歩みとW T Oの役割について、理解する。 グローバル化と地域的経済統合について関心をもち、世界地図やインターネットなどを利用して具体的に考察する。 国際協調のために、どのような国際機関が存在するか、把握する。 貿易の自由化が経済に大きな影響を与え、それによって、地域的経済統合の動きなどがみられることを理解する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 |
| 3 | 2 | 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 大きな政府と小さな政府 少子高齢社会と社会保障 住民生活と地方自治 情報化の進展と市民生活 産業構造の変化と中小企業 農業と食料問題 公害防止と環境保全 消費者問題と消費者保護 労使関係と労働市場 高知の淡水環境から見えてくるもの【差込】 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の日本が抱える課題を、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、望ましい解決のあり方を考える。 現実社会の諸課題は、政治と経済が深く結びついていることを理解する。 生活に関連する面を中心に関心を高め、意欲的に理解を深める態度を身につける。 対比する意見などをもとに、さまざまな意見・論調に積極的にふれる。 第1編・第2編の学習の成果の上で課題を追究する。(PowerPoint・PhotStory活用) 第3編最初の「スキルアップ」などをもとに、簡単なレポートを書いたり、ディベートなどを行ったりする。 具体的事例をもとに、それぞれの問題を多角的、多面的に追究し、望ましい解決方法を考察する。 政治と経済は密接に関連しており、互いに影響を与えていることを理解する。 それぞれの課題には、さまざまな角度からの対応策があることを把握しながら、幅広い視点から考察することを身につける。 高知の淡水生物の置かれている状況についてレッドデータブック等を活用しながら、見えてくる視点を共に考察させ、広がりを持たせる。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 |
| | 3 | 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境問題 核兵器の廃絶と軍縮 人種・民族問題 経済摩擦と外交 南北問題と国際協力 国際社会における日本の役割 | <ul style="list-style-type: none"> 国際社会における課題は複雑なものであり、そのため国際的な視点から追究しながら、日本の役割について考察する。 国際社会の課題は、政治・経済の枠をこえたものが多く、国際関係に大きな影響を与えることを認識する。 さまざまな観点から課題を追究する態度を身につけ、国際社会における日本の役割について考察する。 身の回りの具体的な事例をもとに、地球環境問題などの世界的な諸問題について考察する。 第1編・第2編の学習の成果の上で課題を追究する。 国際社会における諸課題を日本の立場や役割から考察する。 それぞれの課題に対して、国際社会における日本のとるべき立場を考えながら、プレゼンテーションなどをする。 国際社会における諸課題を考える際、国内だけでなく国際的な面からも、また、政治や経済の面からも課題を追究する必要があることを認識する。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト 提出課題 定期考査 |